

30日に大樹町航空公園

【大樹】日本宇宙少年団大樹分団(勝海敏正分団長)は、30日に町多目的航空公園付近で予定されているCAMU I型ハイブリッドロケットの打ち上げ実験の見学会を開く。団員のほか、町内在住の小・中学生を対象に参加を募っている。

同ロケットは北大院院の永田晴紀助教授をリーダーに道内の大学、企業、NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(札幌市)が開発。火薬は使わず、プラスチックを液体酸素で燃やす構造。全長3・6メートルのロケットを飛ばし、データを収集する。

キャンプ参加者は、29日にロケットの打ち上げ準備を見学し、同公園内でキャンプし泊。30日午前6時(予定)の打ち上げを見ることができ、札幌市から訪れ、実験を見学する小・中学生との交流やペットボトルロケットの打ち上げ体験も予定している。

小学3年生以下は保護者の同伴が必要。参加費は1人2000円。寝袋、洗面道具、筆記用具などは持参する。

申し込み締め切りは21日。申し込み、問い合わせは同分団事務局の町総務企画課(0143-62-2111)内線31431(c)。(松村賢裕)

ロケットの打ち上げ見に行こう